



11月のほけんだより



R5.11月 ハート保育園

日に日に涼しくなり過ごしやすくなりましたが、朝晩の冷えのせいか子供達に鼻水や咳のある子が増えてきました。今回は、症状に応じた受診科を説明します。

1. 咳が主症状の場合

風邪によることが多いですが、症状が長引く場合は肺炎、気管支炎、喘息などを見逃さないために、**小児科**の受診をお勧めします（聴診器で肺音を聞いたり、酸素飽和度を測ったりして呼吸状態を見ます。必要時レントゲンも撮影することもあり）

2. 鼻水が主症状の場合

治りが悪い場合は、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎などの事もあります。また中耳炎も鼻や咽頭の炎症が原因の事もある為、**耳鼻科**での診察をお勧めします。滲出性中耳炎の診断は小児科では困難です。滲出性中耳炎では、聴力が低下し言語発達に影響する上、急性中耳炎が再発しやすくなることがあります。小児科で治療を受けた場合でも、耳鼻科で治癒確認することをお勧めします。

3. その他

虫刺されや皮膚トラブルは、**皮膚科**が専門ですので皮膚科へ受診しましょう。

便秘は長引くと、便が固くなり排便時に痛みを伴い、子供でも排便時出血や痔になることがあります、**小児科**を受診し整腸剤や下剤を処方してもらいましょう。